

バンカラ弁護士 人情派

国労労働者が大宮駅前で24時間のハンガーストライキを闘った時の事。その夜、労働者の張ったテントの周りを一人黙々と掃除をする山本。なぜそこまでするのかと尋ねれば、「市民に少しでも不快感を与えないのが信頼の第一歩なのだから」と静かに答えた。反面、翌日の総括集会上に私服警察官が多数押し寄せ弾圧をはかった際には、臆すことなく毅然と対応し、体を張って市民を守った。弱きを助け、強きをくじくその姿は、まさに現代の武士。人呼んで「バンカラ弁護士人情派」

故山本様は大宮市北袋町に迫ってきた高速道路問題に法律問題の顧問として、多大な貢献をなされていました。おりしも三菱マテリアルが秘密裏に行っている敷地内放射能汚染土壌の処理が、大手マスコミ紙で大きく報道され、社会問題化しました。住みよい町を作る有志によって「三菱放射能などから住民らの安全と環境を守る会」が結成され、世話人が

北袋町1丁目4人、北袋2丁目3人、北袋町以外3人(故山本様はこの中の一人)として選ばれました。三菱マテリアルは、当初頑なに企業秘密を主張したが、日本共産党国会議員・県議会議員などの援助もあり、大宮市、埼玉県、国会・科学技術庁などへの陳情・交渉が持たれました。東海村の放射能問題が発生したこともあり、参議院決算委員会の中で「地域

にある企業は、住民に公開をする必要がある」との政府見解を勝ち取り、現在三菱の住民公開が実現しています。

三菱放射能などから住民らの安全と環境を守る会

萬羽 政司



私が住んでいた旧大宮市北袋町に首都高速道路が延伸してきて、町内のどまんなかを広い道路が貫くことになりました。また地下道に充満する排気ガスを排出するための排煙塔ができるといことになり、車の通行量が増えれば公害の発生も予想されるため、私たちは「埼玉新都心高速道路公害等をなくす住みよい町をつくる会」を立ちあげ、山本先生にご相談し活動を始めました。このときは、北袋町全部の自治会の会長さん達が賛同して名前を運んでいただき、党派など関係なく多くの方の賛同を得て、活動にあたりました。土地の買収で立ち退きなども進んでいたため、残って住み続けることになった住民たちが健康に暮らしていけ

るように力を尽くすというのが会の目的でした。山本先生も私たちも手探りで、学習しながら、試行錯誤しながらやってきました。先生が全国の公害問題に取り組んでいる運動の情報などを見つけてきてくださったので、私たちは東京や大阪などにも視察や勉強に出かけることができました。首都高速道路公園との交渉の中で、何度も「このへんで妥協せざるを得ないか」という場面がありましたが、先生は「いや、だめだ。まだあきらめない」と私たちを引っ張ってくださいました。昨年(2011年)の7月21日の集会(北浦和公園)の時も、私は運動への賛同カンパを集める要員をしていましたが、思いの他たくさんのカンパが集まり、山本

先生と一緒に喜び合ったことを思い出します。また、2月20日の見沼区の「総行動」で挨拶をされていた姿も見ていましたし、私の知り合いの中からも、「倒れられた23日に、山本先生に会ったよ」「うちの事務所にもオール埼玉のことで来たよ」という声を聞くことができました。命がけて平和を守る方が亡くなってしまい、本当に残念です。住民のため、本気で闘ってくれた事を感謝し心に刻み、これからの運動にも活かしていきます。

埼玉新都心高速道路公害等をなくし住みよい町をつくる会 事務局長

大熊 美奈子

国鉄が1987年4月1日に分割・民営化され28年が経過しています。この分割・民営化に反対するとして、大宮の地で「国鉄の分割・民営化に反対する大宮地区連絡会議」を設立し、毎月の事務局会議・駅頭宣伝、国鉄まつりへの参加、他団体が企画するまつりに、うどん店を出店など数々の運動を繰り広げてきました。その中心に奮闘していただいたのが、中央法律事務所の山本弁護士。弁護士の職務で大変忙しい中、事務局会議で決定した企画の成功のために、つねに私たちを牽引していただきました。そのような中でも大宮東口での「ハンガーストライキ」は、決して忘れる事はできません。

最近知ったことですが、警察の許可をもらうために、何回も警察署に足を運んでくれていたそうです。私たちが知らなかったこの努力があったからこそできたといっても過言ではありません。私は、山本弁護士から一切の愚痴も聞いたことがありません。一つの目標を決意したら、どんな大きな障害があろうと、最後まで信念を貫く。それが山本政道弁護士でした。弁護士の職務で大変忙しい中、事務局会議で決定した企画の成功のために、つねに私たちを牽引していただきました。そのような中でも大宮東口での「ハンガーストライキ」は、決して忘れる事はできません。

国鉄の分割・民営化に反対する大宮地区連絡協議会 元事務局長 国労大宮地区本部執行委員

高橋 守

私たち北袋地域の住民は住みよい町をつくる会をつくり、五つの町会と連合し、山本弁護士のご協力で埼玉県、さいたま市、首都高道路公団や三菱マテリアル中央研究所等と闘い、さいたま新都心内開発高速道路公害や、三菱原子炉をはじめと放射能公害や多面的地質汚染をなくし、くらしと健康を守り、住みよい運動に勝利することができました。この教訓は原子力開発とオリンピックをめぐる首都圏再開発、高速道路建設との長い闘いの中に生きてきます。心から感謝しています。

埼玉新都心高速道路公害等をなくし住みよい町をつくる会 会長

山口 義夫